

令和6年度（I期）

感染管理認定看護師教育課程 入学選考試験問題

専門科目 I：四肢択一

以下の問題について該当する番号を一つ選び、解答欄に記入しなさい。

【問題 1】 日本看護協会が示す認定看護師が果たすべき役割として正しいのはどれか。

1. 倫理調整
2. 教育
3. 相談
4. 研究

【問題 2】 感染成立の連鎖で正しいのはどれか。

1. 感受性宿主は感染や発病を防ぐ力のあるヒトや動物である。
2. 医療施設で感染源となることが多い病原巣は動物である。
3. 病原体は感染経路を通過して病原巣から出る。
4. 病因とは病気の生物学的・科学的・物理的な要因である。

【問題 3】 再興感染症の説明で正しいのはどれか。

1. 複数の国や大陸に拡散、同時流行した感染症
2. 最近新しく認知された感染症
3. 既知の感染症で患者が減少していた感染症のうち、近年再流行しはじめた感染症
4. 海外で感染して国内にもち込まれる感染症

【問題 4】 WHO が 1980 年に世界根絶宣言した感染症として正しいのはどれか。

1. マラリア
2. 麻疹
3. 天然痘
4. ポリオ

【問題 5】 感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、感染症法）の説明で正しいのはどれか。

1. 1 類感染症は第 2 種感染症指定医療機関へ入院が必要である。
2. 指定医療機関への入院勧告は都道府県知事が行う。
3. 3 類感染症の医療費は公費である。
4. すべての 5 類感染症は直ちに届け出る。

【問題 6】 3類感染症として正しいのはどれか。

1. 腸管出血性大腸菌感染症
2. インフルエンザ
3. 結核
4. MRSA 感染症

【問題 7】 学校保健安全法の説明で正しいのはどれか

1. 感染症の種類は第 1 種～第 3 種に分類される。
2. 第 1 種は感染症法による 1 類・2 類・3 類のすべての感染症が含まれる。
3. 第 3 種は空気感染する感染症である。
4. 全ての感染症の出席停止期間は医師が決定する。

【問題 8】 安全キャビネットのバイオセーフティレベルの説明として正しいのはどれか。

1. 病原体管理や規則については、廃棄物処理法で定められている。
2. 微生物などの危険度の評価による分類である。
3. WHO はリスク群を 1 から 10 までに分類している。
4. リスク 1 群は高度封じ込めが必要とされている。

【問題 9】 予防接種法の説明で誤っているのはどれか。

1. A 類疾病は集団予防を目的とする。
2. 定期接種と任意接種がある。
3. 定期接種は自治体が主体となって実施する。
4. B 類疾病には接種義務がある。

【問題 10】 定期予防接種が必要な疾患として正しい疾患はどれか。

1. 流行性耳下腺炎
2. B 型肝炎
3. インフルエンザ
4. 髄膜炎菌

【問題 11】 生ワクチンとして正しいのはどれか。

1. 肺炎球菌
2. 日本脳炎
3. BCG
4. A 型肝炎

【問題 12】 薬剤耐性菌の略語と正式名称の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. MRSA ————— 多剤耐性黄色ブドウ球菌
2. MDRA ————— 多剤耐性アシネトバクター
3. VRE ————— バンコマイシン耐性腸球菌
4. CRE ————— カルバペネム耐性腸内細菌科細菌

【問題 13】 薬剤感受性試験の説明で正しいのはどれか。

1. 薬剤希釈法では最大発育阻止濃度を測定する。
2. 抗菌薬感受性試験結果が「S」の場合、「耐性である」と解釈する。
3. 発育阻止円を MIC という。
4. 薬剤拡散法の利点は手軽に行えることである。

【問題 14】 グラム陰性菌として正しいのはどれか。

1. *Pseudomonas aeruginosa*
2. *Streptococcus pyogenes*
3. *Clostridium botulinum*
4. *Bacillus cereus*

【問題 15】 肺結核の原因となる細菌として正しいのはどれか。

1. *Escherichia coli*
2. *Serratia marcescens*
3. *Mycobacterium tuberculosis*
4. *Haemophilus influenzae*

【問題 16】 芽胞の説明で正しいのはどれか。

1. 栄養が豊富で発育環境が整うと形成される。
2. 熱や乾燥に強い抵抗性を持つ。
3. 芽胞形成された細菌は増殖できる。
4. ウイルスが形成する。

【問題 17】 ウイルスの説明で正しいのはどれか。

1. 臓器や組織への親和性がある。
2. 治療には抗菌薬が有効である。
3. 光学顕微鏡で観察できる。
4. すべてのウイルスはヒトに感染する。

【問題 18】エンベロープを保有するウイルスで正しいのはどれか。

1. インフルエンザウイルス
2. ノロウイルス
3. ロタウイルス
4. アデノウイルス

【問題 19】母乳を介して感染するウイルスで誤っているのはどれか。

1. ヒトT細胞白血病ウイルス-I型
2. ヒト免疫不全ウイルス
3. ヒトパピローマウイルス
4. サイトメガロウイルス

【問題 20】感染症迅速キットにて肺炎球菌の判定時に用いる検体として正しいのはどれか。

1. 尿
2. 喀痰
3. 血液
4. 咽頭拭い液

【問題 21】生体防御機構で誤っているのはどれか。

1. 腸内細菌が血流などを介して体内移行することをバクテリアルトランスロケーションという。
2. 抗原が侵入した後に最初に産生されるのは免疫グロブリン IgM である。
3. 気道に侵入した微生物は線毛運動によって体外へ排出される。
4. H2 受容体遮断薬は腸内感染を予防する。

【問題 22】ヘルパーT細胞について正しいのはどれか。

1. 好中球に含まれる。
2. 1～3型がある。
3. 1型は細胞性免疫に関わっている。
4. 免疫不全者では増加する。

【問題 23】標準予防策で感染源となるもので正しいのはどれか。

1. 傷のない皮膚
2. 汗
3. 爪
4. 粘膜

【問題 24】手指衛生の方法として正しいのはどれか。

1. 手洗いのみ
2. 手指消毒のみ
3. 手洗いと手指消毒
4. 手洗いと手指消毒と手袋消毒

【問題 25】個人防護具の脱衣順で正しいのはどれか。

1. キャップ → マスク → エプロン → 手袋
2. 手袋 → エプロン → キャップ → マスク
3. エプロン → 手袋 → キャップ → マスク
4. エプロン → キャップ → 手袋 → マスク

【問題 26】手袋の着用で正しいのはどれか。

1. すべてのケア時に二重手袋を必ず着用する。
2. 手袋を外した時に、手に汚染がなければ必ず手指衛生をしなくてもよい。
3. 違う患者のケアを実施する時に二重手袋の場合は外側の手袋のみ交換する。
4. 二重手袋をしていても内側の手袋が汚染されることがある。

【問題 27】隔離予防策のための CDC ガイドライン 2007 による感染症と感染予防策の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 梅毒 ————— 接触感染予防策
2. レジオネラ症 ————— 標準予防策
3. 風疹 ————— 空気感染予防策
4. 非結核性抗酸菌感染症 ——— 飛沫感染予防策

【問題 28】蚊によって媒介される感染症で誤っているのはどれか。

1. ウエストナイル熱
2. 黄熱
3. 日本紅斑熱
4. 日本脳炎

【問題 29】N95 マスクの規格や性能として正しいのはどれか。

1. 耐油性はない。
2. 耐油性はないが防油性はある。
3. 日本では粒子状物質吸入防止規格は都道府県で定めている。
4. 粒子捕集効率は 99%である。

【問題 30】 B 型肝炎ウイルスについて正しいのはどれか。

1. RNA ウイルスである。
2. 経口感染する。
3. 持続感染することがある。
4. 環境表面では生存できない。

【問題 31】 ヒト免疫不全ウイルス (HIV) について正しいのはどれか。

1. CD4 陽性細胞に感染する。
2. インフルエンザウイルスに比べて非常に感染力が強い。
3. 後天性免疫不全症候群(AIDS)は HIV の病原体である。
4. 抗 HIV 薬の投与は単剤療法が基本である。

【問題 32】 針刺し・切創・皮膚/粘膜曝露予防において適切なのはどれか。

1. 部署別に発生件数を集計して公表する。
2. 片手で操作できる安全器材を導入する。
3. 看護師にだけ職業感染予防指導をする。
4. リキャップして廃棄することを徹底する。

【問題 33】 感染症に罹患した医療従事者の就業制限で正しいのはどれか。

1. 疥癬と診断された職員の制限は必要ない。
2. 黄色ブドウ球菌を保菌している医療従事者は、除菌できるまで制限する。
3. 非結核性抗酸菌感染症を診断された職員の制限は必要ない。
4. 季節性インフルエンザ罹患後は抗ウイルス薬を投与すれば制限の必要はない。

【問題 34】 Spaulding の分類に基づきクリティカル器材として正しいのはどれか。

1. 人工呼吸器回路
2. ペースメーカー
3. 軟性内視鏡
4. 直腸体温計

【問題 35】 物理的滅菌法として正しいのはどれか。

1. 酸化エチレンガス
2. 過酸化水素低温ガスプラズマ
3. 低温蒸気ホルムアルデヒドガス
4. 高圧蒸気

【問題 36】 中水準消毒薬として誤っているのはどれか。

1. 次亜塩素酸ナトリウム
2. 過酢酸
3. ポビドンヨード
4. 消毒用エタノール

【問題 37】 逆性石鹼について正しいのはどれか。

1. 陽イオン界面活性剤である。
2. 皮膚粘膜に対して刺激が強い。
3. 洗浄力が高い。
4. ウイルスに対しても高い効果がある。

【問題 38】 日本医療福祉設備協会による「病院空調設備の設計・管理指針」の規定で陽圧管理が必要とされる場所として正しいのはどれか。

1. 人工透析室
2. 一般病室
3. 汚物室
4. 手術室

【問題 39】 黄色のバイオハザードマークの付いた容器に廃棄するのはどれか。

1. 未使用の注射針
2. 検尿用コップ
3. 抗がん剤の付着した容器
4. ディスポシリンジ

【問題 40】 病院清掃について適切なのはどれか。

1. 定期的な環境培養検査を実施する。
2. 医療従事者・患者が頻繁に触れる箇所を頻回に清掃する。
3. MRSA や緑膿菌に効果のある消毒薬で床を清掃する。
4. 病院清掃において清掃従事者が針等により受傷 することはない。

児童 5 名が腹痛、下痢、発熱で受診し、給食による食中毒の疑いのため入院した。
便培養の結果、黄色ブドウ球菌が検出された。

【問題 41】 感染源として疑われるのはどれか。

1. 鶏 卵
2. 魚介類
3. サンドイッチ
4. カレーライス

【問題 42】 入院中の感染対策として適切なのはどれか。

1. 児童に使用する食器はすべてディスポーザブルとした。
2. 家族からの差し入れは禁止した。
3. 症状が続いている間の面会は禁止とした。
4. 児童への食事前の手洗いを指導した。

本日外来に、2 週間以上続く微熱と咳嗽、食欲低下と体重減少、また近頃、寝汗をかいていると訴える男性が受診した。

【問題 43】 疑われる感染症として適切なのはどれか。

1. 結 核
2. マラリア
3. デング熱
4. コレラ

【問題 44】 必要な隔離予防策として正しいのはどれか。

1. 標準予防策
2. 標準予防策+接触感染予防策
3. 標準予防策+飛沫感染予防策
4. 標準予防策+空気感染予防策

頸部リンパ節腫脹を主訴とした小学生を伴って、母が小児科一般受付に来た。
流行性耳下腺炎と診断された。

【問題 45】 母親に対する対応で正しいのはどれか。

1. 空気感染の恐れがあるため、一旦帰宅するよう話した。
2. 飛沫感染の恐れがあるため、別室へ案内した。
3. N95 マスクの装着を促した。
4. ワクチンの必要性について話した。

【問題 46】学校保健安全法施行規則に基づいて指導した登校開始基準で正しいのはどれか。

1. 解熱後 3 日経過したら。
2. 色素沈着が消失したら。
3. 頸部リンパ節腫脹が消失したら。
4. 発疹が消失したら。

頻回に嘔吐と下痢を繰り返す乳児が受診した。検査の結果ロタウイルス抗原陽性であった。

【問題 47】ロタウイルス抗原検査に用いられる検体で正しいのはどれか。

1. 吐物
2. 便
3. 唾液
4. 血液

【問題 48】乳児が使用した体温計の消毒方法として適切なのはどれか。

1. 消毒用エタノールで擦式清掃する。
2. グルタラールアルデヒドに浸漬する。
3. ポビドンヨードを塗布する。
4. 次亜塩素酸ナトリウム溶液で擦式清掃する。

A 病棟に入院中の患者 2 名の尿培養から MDRP が検出された。
検出者 2 名は同室で、尿道留置カテーテルを挿入していた。
集尿は看護助手が行っており、ディスポ手袋のみ装着して順番に患者を回り、部屋ごとに手袋を交換していた。

【問題 49】MDRP の正式名称として正しいのはどれか。

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
2. 多剤耐性緑膿菌
3. メタロβラクタマーゼ産生緑膿菌
4. 多剤耐性肺炎桿菌

【問題 50】看護助手への指導内容で適切なのはどれか。

1. 手袋交換時に手指衛生をする必要はない。
2. 手袋とエプロンを装着し全て終了したら交換する。
3. 手袋は患者毎に交換し、エプロンは部屋ごとに交換する。
4. 手袋とエプロンは患者毎に交換する。